

令和5年度第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会議事録

◇日 時：令和6年3月22日（月） 10時00分～12時00分

◇会 場：石狩市役所 301会議室

◇出席者

＜運営委員＞

溝渕 清彦（会 長）【会場】

更科 美帆（副会長）【オンライン】

松島 肇 【会場】

山本 亜生 【オンライン】

宮本 尚 【オンライン】

安田 秀司 【会場】

安田 秀子 【会場】

小林 卓也 【オンライン】

◇欠席

西川 洋子

＜事務局＞環境市民部 石狩浜海浜植物保護センター

板谷 英郁（センター長）【会場】

佐藤 光弘（主査） 【会場】

佐藤 美弘（主任） 【会場】

高橋 恵美（主任） 【会場】

＜石狩浜海岸草原保全にかかる手法検討業務受託者＞

合同会社いしかり植物ラボ 内藤 華子【オンライン】

◇傍聴者：なし

◇議 題

（1）石狩浜アクションプランについて

（2）令和5年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告について

追加資料 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告第13号「2022年のイソスミレの分布地点別生育状況の比較」

【事務局】

定刻となりましたので、令和5年度第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会を開催します。本日はお忙しい中ご参加いただきありがとうございます。事務局の板谷です。よろしくお願いします。

本日はオンラインとの併用開催となっておりますが、オンラインで参加の委員におかれましては、通信機器の不具合等でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがご容赦願います。また、議事録作成のため録画いたしますのでご了解願います。

本日は西川委員が所用により欠席となっております。

事前配付の資料に加えて、石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告第13号2022年のイソスミレの分布地点別生育状況の比較を追加いたします。本資料は後日ホームページに掲載します。

それでは、議事の進行を溝渕会長にお願いいたします。

【溝渕会長】

おはようございます。会長の北海道環境財団の溝渕です。どうぞよろしくお願いします。

会場に安田秀子委員、安田秀司委員、松島肇委員が参加されています。オンライン参加の皆さんも聞こえにくいことがあればおっしゃってください。

本日の議題は（1）石狩浜アクションプランについて、（2）令和5年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告について、（3）その他であります。

議事の前に今回が任期最後となりますので、私からこの2年間の出来事をお話したいと思います。資料等は用意しておりません。

この間は、新型コロナウイルス感染症拡大による行動制限によりセンターの入館者数が激減したため、評価のあり方が課題になったと思います。もう一点はこの後説明のある石狩浜アクションプランの策定です。本プランは、いしかり生き物かけはし戦略（石狩市生物多様性地域戦略）の行動計画となりますが、この中では海浜植物保護センター事業が大きく位置づけられ、2030年までの具体的目標としてプランに掲載の具体的目標27項目のうち26項目が海浜植物保護センター事業となっています。

ただ、石狩浜アクションプランを本運営委員会で話し合ったことがないので、その部分の整理の仕方を課題として考えていました。ある意味で保護センターの上位計画として石狩浜アクションプランが出来るかたちになるので、アクションプランにある課題解決に向けた目指す姿として、データに基づく保全対策、自然資源の適正管理と適正利用、石狩浜の自然に対するシビックプライド浸透のための基盤づくりが掲げられていて、昨年度と今年度については石狩浜アクションプランに合わせる形で石狩浜海浜植物保護センター事業を再整理してきました。

一方で保護センターは条例において海浜植物の保護を目的として活動する団体との連携協働・パートナーシップを重視しながら事業を行うとあり、今後石狩浜アクションプランの内容に沿う形で活動していくことになると思います。

それでは、議題（1）石狩浜アクションプランについて事務局から説明をお願いします。

～説明～

【事務局】

資料②について説明。

- ・石狩浜アクションプランは「いしかり生き物かけはし戦略（石狩市生物多様性地域戦略）」の個別計画として、石狩浜の自然環境保全に向けた行動目標と具体的な手法についてまとめたもの。
- ・令和5年12月1日から令和6年1月4日までの間でパブリックコメントを実施し、3名から76件の意見があった。
- ・頂いた意見も含めて検討した最終案を資料として示した。
- ・本プランの上位計画であるいしかり生き物かけはし戦略の策定に合わせて策定する予定。

【溝渕会長】

ご質問があればお願いします。事務局からパブリックコメントであった意見のポイントや、変更した部分等大まかに説明いただければと思います。

【事務局】

パブリックコメントにより大きく変更した部分はありません。数値やグラフ、表の修正などが主です。また、頂いた意見を考慮しながら事務局として記述などを変更していますが、基本的なスタンスに変更はありません。

パブリックコメントの結果については、市ホームページに掲載しています。

【溝渕会長】

ご質問があればお願いします。

【安田秀子委員】

今回の石狩浜アクションプランに対するパブリックコメントについて当運営委員に対して連絡がなかったことは残念だと思います、市民に対してもどこまで周知されているのかが疑問です。

また、以前から運営委員会を海浜植物保護センターで開催するようお願いしていますが実現されていません。各種調査についても調査結果が共有されていないことは残念に思います

【溝渕会長】

今回で任期は終了しますが、次期以降の運営委員会開催方法や情報発信について事務局をお願いします。また、今後いしかり生き物かけはし戦略や石狩浜アクションプランに関して市民に意見を伺う機会を設ける予定があるかどうかお聞きします。

【事務局】

もう一度パブリックコメントを行う予定はありませんが、何らかの形で市民の意見を聞く機会を設けようと考えています。時期や内容については未定です。

【溝渕会長】

いしかり生き物かけはし戦略と石狩浜アクションプランの策定はいつ頃になりますか。

【事務局】

6月までには決定したいと考えていますが、状況により遅れる場合もあるかと思います。

【安田秀司委員】

私はパブリックコメントに意見を提出しました。配付の資料はパブリックコメントを反映したものという事ですが、3ページのコラムの中に参考文献22「日本の海岸植物図鑑」とありますが、24の間違いですね。

【事務局】

確認します。

【溝渕会長】

他にご意見はありませんか。プラン策定までまだ時間がありますので、誤字脱字等を含めてお気づきの点があれば事務局まで連絡をお願いします。

【安田秀子委員】

パブリックコメントの意見では採用されませんでした。14ページに「対象範囲とゾーン分け」として7つにゾーン分けした全体の地図があり、18ページ以降にゾーンごとの現況と目標の拡大地図が掲載されていますが地図の文字が小さい。現地との照合ができるくらいに拡大した地図を希望します。地図の修正が難しければ別に対照表を作ることも含めて検討できませんか。

【溝渕会長】

ありがとうございます。現地と照合が出来る程度の精度の情報が欲しいとのことですが、これに関しては事務局に照会できると思います。また、一般の方にどこまでの精度が必要なのか、その情報にアクセスできるかなど地図に限らず色々な関連が出てくることも考えられます。どの程度までの精度で提供するのか、その他についても意見を頂ければと思います。

【松島委員】

パブリックコメントに関しては安田秀子委員の言うとおりでできるだけ多くの方に見てもらえるような工夫が必要かと思います。

【安田秀子委員】

26ページに策定の経緯について記載していますが、会議については非公開となっております。この件についてパブリックコメントでも意見しましたが希少種の内容を扱うためとのことでした。関心のある方は会議内容も気になると思いますので、公開したくない場面で一時退席させるなど開催方法を工夫することで解決できるのではないかと思います。

【溝渕会長】

情報として完全にオープンでの実施が難しい場合は二段構えでの開催も必要と思いますが、情報を守りながら、いかに住民に公開していくかについては体制もあわせて今後検討が必要と思われます。

【事務局】

石狩浜海浜植物等保全検討会議は、道総研が聚富海岸で実施する石狩浜植生再生試験にあたり生物多様性の観点から海浜植物以外の生態系への影響について専門的見地から検討するための会議として設置しもので当初から公開する考えはありませんでした。

【溝渕会長】

専門家による検討の場として設置されたため公開する予定はなかったとの説明でした。今後計画を進

めるうえでは、どのように市民へ情報を公開しながら進めて行くかが重要になると思うので次年度以降はその点を考慮しながらの活動が必要と考えます。

【松島委員】

ご意見は本当におっしゃるとおりだと思います。検討会のメンバーは専門家として石狩浜アクションプランの策定に向けて意見や方向性を示してきました。今後プランを実行していくためには、市民の協力が必要になりますので、各方面の意見を参考にしながら調整していくことが必要だと思います。

【溝渕会長】

ありがとうございます。ほかにありませんか。

なければ次に、議題（２）令和５年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料③について説明。

補足

- ・フィールドマップが活用されていないのではと指摘を受けたので、今年度は海浜植物と保護地区を多めにPRする形に内容を改めた。これにより来館者も興味を示してご覧になる人が増えた印象を受けた。
- ・開花情報の発信を、昨年まで職員で対応していたが、普段から観察している普及員からその時々の様子などを発信する形にし、海浜植物保護センターのホームページにも掲載することで来館していない人にも楽しめるような工夫をした。
- ・観察園について、昨年は猛暑が続くなど毎年条件が違うなかで様子を見ながら手をかけた。
- ・保護センターでクラフト体験を再開した。
- ・新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴って再開した石狩市民図書館、公民館、いしかり砂丘の風資料館、海浜植物保護センターの４館が連携したいしかり館ネットワーク事業の「夏休みわくわく体験コーナー」への参加や、科学の祭典実行委員会が主催する「科学の祭典 in 石狩」でもクラブ体験を行い、それをきっかけに保護センターに何度も来館する方もいた。
- ・地下歩行空間でのイベントにトランクキットを持ち込み、道外の方にも石狩浜の情報を提供した。
- ・石狩浜で行っている調査研究について、わかりやすい内容にして館内に掲示した。
- ・小中学校に向けた環境学習にも力を入れ、石狩浜や海浜植物への興味を持てるようにした。

【溝渕会長】

ご質問等ありませんか。

【安田秀司委員】

事業概要で、石狩浜海岸草原保全に関わる手法の検討を委託するとありますが、委託先も記載すべきではないか。

【溝渕会長】

委託先の固有名詞を示す場合と、委託するという方針で進めたという意味で委託先を記載しない場合もあるので、事務局の方で検討いただければと思います。

【安田秀司委員】

事業概要の下から６行目に「ハマナスを観光・地域資源としても活用の幅を広げました。」という表現があるが、何を言いたいのか分かりづらいので分かりやすい表現にしていきたい。

【溝渕会長】

事務局から説明をお願いします。

【事務局】

この部分の意味としては、ハマナスを保護するだけでなく、地域活性化のため観光資源や地域資源として活用の幅を広げたという意味です。

【溝渕会長】

地域資源とというのは、観光資源以外に何かありますか。

【事務局】

ハマナス関連の商品も扱っているので、産業分野における資源もあります。

【溝渕会長】

ハマナスを観光等にも関わる地域資源として活用のような書き方もあるかもしれないですね。

【安田秀司委員】

3 ページから 8 ページにかけた進捗具合を表にまとめていますが、矢印が何を意味するのか。また、どのように評価をしているのか説明願います。

【溝渕会長】

事務局から説明をお願いします。

【事務局】

凡例の部分が消えてしまっているので修正します。

【溝渕会長】

項目の評価については活動報告を見ればある程度理解できると思いますが、項目ごとに対象となるページを入れていただくと見やすくなると思います。

アンケートの件数が 26 件と来館者数に対してかなり少ない印象を受けますが、回収方法の課題や今後の対応についてお聞きます。

【事務局】

アンケートの件数ですが、去年はさけまつり時に多くのアンケートを回収できましたが、今年はクラフトやほりほり体験を行った際に体験のみ行いアンケートを記入しない方が多く回収数が少なかったのではと考えます。次年度においては手法も含めて検討したいと思います。

【溝渕会長】

回収数を増やすために QR コード等の利用や配付物に同梱するなど検討してほしいと思います。

また、26 件中半分以上が札幌市や道外など市外の方ですが、市民の方々との情報交換や、対話などがどの程度あるのかと考えます。小学校での取り組みはあると思いますが、市内在住の方はどうお考えなのでしょう。

【小林委員】

あまり考えたことはありませんが、例年との違いは感じていません。

【溝渕会長】

市民への発信については昨年度から課題となっていました、今年度その点に関してはもう一つ次の手を打てなかったということですね。石狩浜アクションプランも策定されますが、それを住民とどのように取り組んでいくかという観点から、コミュニケーションをさらに進めていっていただきたいと思っています。

【宮本委員】

石狩浜へはゴミ拾いやアートイベントなどで年間 3 ～ 4 回ほどおじゃましており、海浜植物保護センターの掲示を見学することも多く身近な施設として楽しませてもらっていました。しかし、去年は事業等の都合で 1 回くらいしか行くことが出来ず少し遠ざかってしまった感じでした。

海浜植物保護センターのイベントはインスタグラムなどで見ることもできますが、もう少し日常的に市民や来館者に対しての情報発信を通して再来館を促すことが出来ればと思います。

【松島委員】

関連して4ページの情報発信で評価が拡充となっていますが、発信した情報へのアクセス状況が評価されていないと感じます。現在は発信した情報に対して市民が能動的に確認しなければならないため、ホームページへのアクセス数なども評価対象とするべきではないかと思います。

来館者数についても令和5年は新型コロナによる制限もさほどないと思いますが、新型コロナ以前の半分程度の来館で、情報発信を頑張ってもそれが認知されないと意味がないと思います。いかに多くの人に認知してもらえるかが課題と思います。

学校に対して継続的に事業を行っています、その子たちがリピーターとして家族と一緒に来館しているか等についても追跡調査できるといいなと思いました。

【溝渕会長】

ホームページのアクセス数などの数字を見るのも重要だと思います。到達度が右肩上がりなのは、おそらく他団体の主催事業への参加が増えたことを受けての評価だと思いますが、それもおそらく市外向けが多いと思いますので、市民に対して情報が届いているかどうかについても確認が必要だと思います。

【松島委員】

他団体のイベントについて、実感として今年は例年と比べて参加者は少ない印象でしょうか。他のイベントは参加者が増えているのか、保護センターに来館していないだけなのか。

【事務局】

昨年まではイベントの数が少なかったもので、何かイベントを開催すると参加者は増えていましたが、今年は5月以降新型コロナウイルス感染症の5類以降に伴いイベントの数が増加したため、参加者が分散している感じはあります。また、海水浴場への入れ込み客も少ない印象で海水浴の帰りにちょっと寄っていくということも少なかった印象です。

広報について、石狩海浜植物保護センター通信「はまぼうふう」の回覧も行っていますが、市民への周知方法につて更に検討する必要があると思います。

【安田秀司委員】

ガイドボランティアとして活動していて、本町地区の入れ込み状況は肌で感じます。昨年はさけまつりの来場者が例年より多かったのですが、今年は全般的に減っていると感じています。

【溝渕会長】

来館者の動きについて、小樽市の状況について山本委員いかがでしょうか。

【山本委員】

聞き逃したかもしれませんが、海浜植物保護センターへは外国人観光客は来館されていますか。

【事務局】

外国人観光客は少ない印象です。感覚としては月に1～2回アジア系やヨーロッパの方が来る程度という印象です。

【安田秀司委員】

弁天歴史公園でも外国人の方は以前より少ない印象です。

【山本委員】

私の職場がある小樽市は、インバウンドの割合が非常多くなっており、その対応を考えないといけない状況です。石狩も今は少ないかもしれませんが、今後も外個人観光客の来道は増えるでしょうし、観光客のニーズも多様化しているので、石狩浜の自然に興味をもつ方も増えてくると思います。海浜植物保護センターとして外国人観光客の受け入れについてどのように考えていますか。

【溝渕会長】

事務局いかがでしょうか。

【事務局】

来館してもらうのはありがたいですが、外国人観光客に向けた展示の方法なども考えなければいけないと思います。市内の他施設についても住民の利用が主なので英語表記等もそれほどない状況だと思います。

【松島委員】

石狩市のホームページも英語表記はないですね。

【事務局】

一部に英語表記はあります。ゴミの出し方ガイドなど。

【溝渕会長】

山本委員に伺いますが、小樽では市としてインバウンド観光を受け入れていくという方向の中で、博物館としての対応はどうでしょうか。

【山本委員】

実現するには高いハードルですが、どんどんいらっしゃるので出来ることから始めざるを得ない状況です。例えばガイドシートをいろんな言語で用意したりなど一つ一つ進めてる状況です。

【溝渕会長】

石狩市の場合はまだ少ないですが、今後来ていただくようにする考えはありますか。

【事務局】

ハマナスの丘公園やビジターセンター、海浜植物保護センターの周遊等を考えると、交通手段が少ないことも問題としてあるかと思います。

【溝渕会長】

おそらく海浜植物保護センターとしてというよりは観光戦略の話になるかなという気はします。例えばフィルムコミッションというか映画に出るとか、海浜植物の研究者が私旅行で立ち寄る等も考えられます。

他にはご質問等はないでしょうか。更科委員いかがですか。

【更科委員】

特にありません。アンケートが非常に少ないというのは気になりましたが、お話を聞いたので。

【安田秀子委員】

2 ページ表の中で、事業方針にⅡ「データに基づく保全対策の実施」とあり、事業概要では「保全対策を検討する。」となっていますが、対策を実施するのであれば表現を「保全対策を行う。」などにすべきではないかと思います。

また、下に「石狩市環境基本条例との関係性」の図がありますが、図中に生物多様性の関係で「いしかり生き物かけはし戦略」が載っているので、図のタイトルも「石狩市環境基本条例及び生物多様性に関連する何々」等に変更する必要があるのではないかと。

また、表中に石狩市環境基本条例の記載はあるが、石狩市海浜植物等保護条例と石狩市海浜植物保護センター条例の記載がないので記載すべきだと思います。他にもまだありますが。

【溝渕会長】

全体で共有や協議した方が良くと思うものを優先してお話いただければと思います。

指摘の図のタイトルですが、関連条例ではなく関連計画になるかと思います。また条例も含まれていますが計画だけでもいいと思います。

【安田秀子委員】

45 ページの保護センター運営方法について、業務委託している部分もあるので委託先も記載すべきではないか。運営の情報をまとめている部分なので情報として関わっている委託先も書き入れるべきでは

ないかと思います。令和4年の報告書には記載がありますが扱いが変わったのでしょうか。

専門家の意見を聞く体制になっていると思いますが、専門家の委員会を開いて意見を頂いているのであればその関係も記載すべきではないでしょうか。また、運営委員の氏名は記載されていますが行政の担当職員についても同様に記載すべきだと思います。

【溝渕会長】

個人的な印象として、作業委託的なものについては報告には記載しないこともあるとは思いますが、関わりの度合いによって記載することもあるので事務局の判断に任せてよいと思います。また、行政職員の氏名についても議事録には記載しますが事業報告書に記載することはないと思います。センター長などの役職については記載する判断もあるかと思いますが。

【事務局】

行政職員の名前は記載しなのが一般的と考えています。

【安田秀子委員】

専門家の会議とタイアップして動いてる形に今なってるのでしょうか。先ほど石狩浜アクションプランの関係については聞けましたが、海浜植物保護センターをどうしていけばよいのかについても専門家の立場での意見を聞いているような気がするので、それならば協力いただいている会議の名前やメンバーの名前も記載すべきではないか。

【事務局】

この報告はあくまでも保護センターの事業に対しての活動報告なので、どこまで反映するのかについて即答は難しいです。

【溝渕会長】

例えば計画の中で、今後の保護センターのあり方について検討するという計画が入っていれば、当然報告の中に記載されると思いますが、自然保護課の事業として行うのか保護センター事業として行うかについての整理を明確にすることが重要だと思います。

【安田秀子委員】

いろいろ区分けはあると思いますが関わってる人、支えてくれている人たちがこれだけいて動いているという見せ方もあっていいのかなと思います。

【溝渕会長】

安田秀子委員のこれまでの活動について協働してきた相手を報告書に載せてはどうかというご意見を過去にもいただいています。報告書の中に全を網羅するのは難しいかなと思います。そこに手間かけるよりも、市民との対話というところに力点を置いていただきたいと思います。

【安田秀子委員】

44 ページ上から 10 行目に「海浜生態系の保全に調査研究活動支援」とありますが文章が分からないのと、令和4年度の報告書では「ボランティアグループの調査研究活動支援」となっていました。このボランティアグループとは保護センター開設時にボランティアで動いてくれる海浜植物のグループがあって共同で動いていましたが、現在はグループがないとの判断で変えたのか確認します。

【事務局】

あくまで石狩浜アクションプランとの整合を意識して記載していますので、ボランティアの有無について意識したものではありません。

【安田秀子委員】

石狩浜アクションプランにはボランティアの記載はありませんよね。

【溝渕会長】

共同やボランティア、市民参加については全般に関わることになるので、5行目にボランティア・各

種団体・研究機関との連絡調整とあり、それは一番下の調査研究活動支援にもかかる構造かと思います。
最後に全体として共有しておきたい点について何かあればお願いします。

【安田秀子委員】

気になる点については、後ほどお渡ししたいと思います。

【溝渕会長】

今日は時間が取れませんが、次回の運営委員会にお諮りいただければと思います。
これをもって本日の議事は終了させていただき、進行を事務局にお返しします。

【事務局】

長時間にわたりご審議ありがとうございます。議事録については各委員に確認後決定し、会長の署名を頂くこととします。

2年間にわたり石狩浜海浜植物保護センター運営委員としてお世話になりありがとうございました。
今後いろいろな場面でお世話になると思いますが、一緒に石狩浜の海浜植物を守るというスタンスで頑張りますので今後ともよろしくお願いします。

議事録を確認しました

令和 7 年 / 月 27 日

石狩浜海浜植物保護センター運営委員会

会長 溝渕 清彦 